

グローバル競争で克つ!

ものづくり中小企業

～“ものづくり”のよい流れを作ろう～



藤本 隆宏 氏

東京大学大学院経済学研究科教授
東京大学ものづくり研究センターセンター長

1955年東京都生まれ。1979年東京大学経済学部卒業、三菱総合研究所入社。
1989年米Harvard Business Schoolで博士号取得、
1990年東京大学経済学部助教授。1998年東京大学大学院経済学研究科教授。
2004年東京大学ものづくり経営研究センター長。『日本のもの造り哲学』（日本経済新聞社）など著書多数。

◆セミナー参加費 無料

※交流会参加費は、別途
【1,000円/1名】頂戴致します。

平成25年 **7**月 **4**日 **木**

セミナー 14:00～16:00

交流会 16:00～17:00

会場 情文ホール (横浜情報文化センター6F)

横浜市中区日本大通11番地(「日本大通り駅」3番出口)

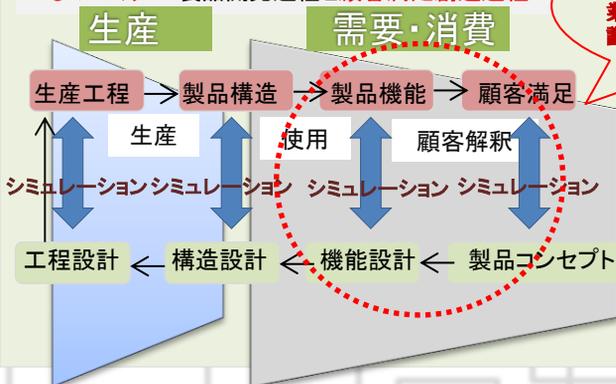
※交流会費は、別途【1,000円/1名】頂戴致します。

講演内容

「中小企業が、“ものづくりのよい流れを作ること”とは？」

～よいものづくり企業は、顧客が求めるものは「モノ(製品)」ではなく「サービス」だということを知っている～

“ものづくり”＝製品開発過程と顧客満足創造過程



下請け脱出・新製品・新事業創出には“この部分”の認識が必須です。

ものづくりを「材料や部品に対し成形・加工・組立を行う固有技術あるいは熟練技能」と狭く解釈する傾向が日本の製造業には根強い。さらに中小企業には、“技術はあるのに儲からない”という悩みをもつ企業も多くみられる。

グローバルに競争優位を確保している企業には、革新的な強い固有技術を保有しながら、「現場のものづくり組織能力」の強化に努めるとともに固有技術偏重の考えから脱却し、「よい設計」を起点に、「よい流れ」で現場を顧客までうまくつないでいる企業が多く存在する。すなわち、ものづくりを“生産現場の作業だけ”と狭くは見ないで、イノベーション(革新)やソリューション(問題解決)を「広義のものづくり」の一環として連続的に把握している。

一方、各地域には、ものづくり現場のベテランを中心に、種々のキャリアを有する人材が多数おり、彼らの効果的活用は、地域の産業活性化につながる。これら地域に「よい流れ」を作る「インストラクター」を育てる取り組みについても紹介する。

お問合せ先 経営支援部技術支援課 TEL:045-225-3733

FAX:045-225-3738

<http://www.idec.or.jp>

★HPからのお申込み可能です★

■第198回産学交流サロン 参加申込書■

氏名 (ふりがな)

所属・役職名

企業名

事業内容

所在地

セミナーのみ参加

TEL

E-Mail

交流会も参加 (別途1,000円)

FAX